

質疑一覧表

令和7年12月19日(金)

令和7年第4回定例会

順位	質 疑 者	質 疑 事 項	答 弁 者
1	松田浩孝 〔公明党・鹿児島市・鹿児島郡区〕	<p>1 重点支援地方交付金等を活用した物価高対策について</p> <p>① 本県及び県内各市町村への交付限度額を何うとともに、どのような考えの下に、今回の12月補正予算・追加提案にこれらの事業を計上したのか何う。さらに、限度額の残額について今後どのように取り扱うのか何う。</p> <p>② 県内市町村が重点支援地方交付金を活用した物価高対策にしっかりと取り組むことができるよう、県として助言等をおこなっているのか何う。</p> <p>③ 新規3事業について、それぞれ取組む理由とねらいについて何う。</p>	関係部長
2	たいら行雄 〔共産党・鹿児島市・鹿児島郡区〕	<p>1 鹿児島県生活者・事業者応援プレミアム商品券等事業について</p> <p>① 県は、市町村が実施するプレミアム商品券等の発行に要する費用を補助するとしているが、現金給付への支援も想定しているか。</p> <p>1 医療、介護、福祉分野における新規事業等について</p> <p>① 今回の追加補正において、「医療分野賃上げ・物価上昇対策支援事業」に9億7,800万円余、同じく介護分野に39億3,000万円余、「福祉・介護職員等処遇改善等緊急支援事業」に10億2,900万円余が計上されているが、医療分野の予算が少額な理由は何か。</p> <p>② 経営が逼迫している状況のもと、支援については緊急性を伴うものとするが、それぞれの事業所に支援が届くのは、いつ頃と考えれば良いか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
3	橋口住眞 〔無所属・出水市区〕	<p>1 市町村が実施するプレミアム商品券等の発行を支援する事業について</p> <p>① 県が「市町村が実施するプレミアム商品券等の発行支援」を選択した理由は何か。</p> <p>② 事務費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務費は総額いくらか。</li> <li>・ 県民に届く「プレミアム分」はいくらか。</li> <li>・ この2つを合計した時、県は「このやり方が一番ムダが少ない」との認識か。</li> </ul> <p>③ 地域活性化への効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県は、今回の商品券で「新しい消費」がどれだけ増えると考えているのか。</li> </ul> <p>④ プレミアム商品券の公平性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレミアム商品券は「買える人だけが恩恵を受けやすい」。県の考えを何う。</li> </ul>	関係部長